

私たちは文化財をとおして
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



公益財団法人滋賀県文化財保護協会
設立 50 周年を迎えます

季刊

みる・きく・ふれる 文化財

おうみ文化財通信

vol. 48

Information of Cultural Heritage in OHMI

2021 Summer

【調査速報】大用水路地帯を発掘!? - 栗東市辻遺跡 -

【展示案内】レトロ・レトロの展覧会 2021 東海道を探る PART2 - 栗東市高野遺跡 -

【お知らせ】滋賀の文化財講座『花湖さんの打出のコヅチ』で楽しく学ぼう!

【展示案内】滋賀県埋蔵文化財地域展示Ⅲ「縄文人のアートとキッチン」

【展示案内】「発掘された近江 - 関津遺跡と関津城跡 -」

【お知らせ】「あの遺跡は今! Part28」 【お知らせ】紀要 34 号が刊行されました!



しがぶんちゃん

【調査速報】

大用水路地帯を発掘!?

栗東市 辻遺跡 — 一般国道 8 号野洲栗東バイパス建設工事に伴う発掘調査 —



谷の南岸 (左) とそのほとりに築かれた竪穴建物 (右)

(写真提供: 滋賀県)

辻遺跡は栗東市出庭・辻に広がる遺跡で、これまでの調査により、玉作りなどの手工業工房跡や渡来人との関係が深い土器が出土するなど、古墳時代の大集落跡として知られています。遺跡の範囲内に道路建設工事が計画されたため、平成 30 年度から発掘調査を実施しており、現在も継続中です。

今回の調査地周辺は、これまでに発掘調査がほとんど実施されていなかった地点であり、具体的な状況はあまりわかりませんでしたが、今回の調査により大きな谷や古墳時代前期から奈良時代にかけて形成された多数の溝が見つかりました。また、溝が掘削される以前には古墳時代前期を中心とする時期の竪穴建物などがつくられていたことがわかりました。

【詳しくは次のページ】

栗東市 辻遺跡 —大用水路地帯を発掘!?

●大規模な谷

複数の調査区にまたがって検出し、最大幅 45m以上、深さは深い部分で 2m以上にもなります。谷の底付近では古墳時代前期(1,700 年前)の土器類が出土するのに対し、堆積土の上層では古墳時代後期～奈良時代(1,500～1,300 年前)にわたる土器類が出土するため、徐々に谷が埋まっていったことがわかります。

●何度も掘り直された複数の溝

谷の縁辺やその北側の微高地にかけて、古墳時代後期～奈良時代の用水路と考えられる溝が何条も見つかっています。溝はおおむね東西方向に掘削され、幅が 4～5mとなる大規模なものもあります。近い場所で何度も掘り直して利用していたようで、この地点で溝を維持する必要があったことがうかがえます。下流一帯を水田として開発し、調査地周辺はそれを支える重要な用水路地帯であったと推測されます。

●谷や溝の埋没後の景観

次第に埋没した谷や複数の溝は、平安時代末～鎌倉時代(900 年前)にはほとんどが埋まってしまう、地面となったその上で現在の地割と方位が一致する大型の掘立柱建物が見つかりました。その後、掘立柱建物もなくなり、現在と同様の水田の広がる景観になっていったと考えられます。

●その他の遺構(古墳時代前期の竪穴建物)

谷の付近には古墳時代前期の竪穴建物が点々と築かれていました。谷は竪穴建物の築かれた古墳時代前期には存在していたようで、その兩岸にムラが営まれていたと考えられます。



R2 地元説明会資料



溝の掘削状況(中央の土層観察用断面で質の異なる土が堆積していたことがわかる)



古墳時代後期～奈良時代の用水路と考えられる複数の溝(西から)



谷や溝が埋没した後に築かれた平安時代末～鎌倉時代の掘立柱建物



古墳時代前期の竪穴建物

(写真提供: 滋賀県)

【展示案内】レトロ・レトロの展覧会 2021 特別陳列 1

東海道を探る PART2～すがたをあらわした古代のハイウェイ～ 栗東市 高野遺跡

「レトロ・レトロの展覧会 2021」は、発掘調査の成果速報展として開催しています。今回展示する遺跡は、通信 vol.47 に【調査速報】として掲載しています栗東市の高野遺跡です。

古代東海道や川跡から出土した土器や金属器生産にまつわる遺物などを写真パネルなどとともに展示しています。ぜひ、ご覧ください。

【展示期間】令和3年5月24日(月)～9月30日(木)

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】土・日・祝日(ただし、7月22日～8月31日は休館なし)

【入館料】無料

【会場】滋賀県埋蔵文化財センター 1階ロビー(滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2)



展示案内



見つかった古代東海道側溝跡(青塗部分)
(写真提供: 滋賀県)

【お知らせ】

滋賀の文化財講座『花湖さんの打出のコヅチ』で楽しく学ぼう！

滋賀の文化財を身近に感じていただける、魅力いっぱいの文化財講座です♪気軽にご参加ください。

	開催日	タイトル	内 容	受付開始日
第3回	7/14(水)	滋賀県の仏教工芸 密教法具篇	神秘的で独特な形の密教法具。最新の科学的調査による新たな知見も紹介します。	6/15(火)～
第4回	8/26(木)	仏教美術にみる「死生観」	「生きる」と「死ぬ」と、古の人々の死生観を仏像や仏教絵画から読み解きます。	7/27(火)～
第5回	9/16(木)	建造物のさまざまな屋根技法	滋賀の神社や寺院、民家などの屋根に注目した建造物のお話です。	8/17(火)～

【メイン会場】コラボしが213階大会議（大津市打出浜2-1）JR 膳所駅から徒歩約20分

【各回定員】100名（要申込・先着順・受講無料）

【時 間】14:00～15:30（受付13:30から）

【申込み問い合わせ】

滋賀県立琵琶湖文化館

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先

TEL 077-522-8179 FAX 077-522-9634

メール biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp

URL <http://biwakobunkakan.jp>



文化館 HP



オンライン配信による
サテライト会場
(彦根・近江八幡・湖南・多賀)
での受講も可能です！

詳しくは同封のチラシを
ご覧ください。

募集中



琵琶湖文化館では、開館当時（昭和36～40年代）のカラー写真を探しています。「トンボのお城」と呼ばれる所以でもある、屋上に設置された大トンボが金色に輝いていた頃の写真です。皆さんの思い出とともに情報をお寄せください。



【展示案内】滋賀県埋蔵文化財地域展Ⅲ

「縄文人のアートとキッチン」

今夏の滋賀県埋蔵文化財地域展は、県東北部に位置する米原市とその周辺の縄文時代に焦点を当てます。およそ一万年前に現代への扉をひらき始めた縄文人の知恵や工夫を発見してみませんか！

日本最古級の土偶のほか、5000年前の丸木舟やアクセサリ、超絶技巧で飾られた土器などおよそ400点を展示します。

夏休みの自由研究や工作の宿題にも役立つヒントや豆知識が見つかるかも。映えちゃう写真も撮り放題！

【開催期間】令和3年7月22日（木・祝）～8月31日（火）

【開館時間】午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休 館 日】期間中無休

【入 館 料】無料

【会 場】滋賀県埋蔵文化財センター 1階ロビー
（滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2）

●お問合せ先 公益財団法人滋賀県文化財保護協会
077-548-9780（平日 8:30～17:15）
〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2

●展示する主な遺跡（予定）

入江内湖遺跡・筑摩佃遺跡（以上米原市）、
六反田遺跡（彦根市）、相谷熊原遺跡（東近江市）ほか

●会場・内容の詳細は当協会 HP

<http://shiga-bunkazai.jp/>



日本最古級の相谷熊原遺跡土偶も登場



夏休みの宿題に役立つ企画も検討中！



協会HP

（相谷熊原遺跡出土土偶 写真提供：滋賀県）

やむをえず、会期を変更する場合がございます。最新情報は協会ホームページでご確認下さい。

●本誌の掲載情報は令和3年7月1日現在の情報です。諸般の事情により内容が変更される場合がございますので、お出かけの際はご確認下さい。

【展示案内】滋賀県立安土城考古博物館 令和3年度 第64回企画展

「発掘された近江－関津遺跡と関津城跡－」

関津遺跡・関津城跡は、滋賀県の南部、琵琶湖の入口に位置する遺跡で、発掘調査によって、関津遺跡では古代の道路や役所、中世の港や集落のほか、旧石器時代から江戸時代におよぶ各時代の遺構と遺物、関津城跡では戦国時代の国衆が築いた城郭がみつかるなど、近江の歴史を考えるうえで欠くことのできない貴重な成果が数多く得られています。

本展では関津遺跡と関津城跡から出土した資料により、奥深い近江の歴史の一端を紹介します。



関津遺跡出土 古代の土器（滋賀県蔵）



関津遺跡出土 中世の輸入磁器（滋賀県蔵）



関津城跡

（写真提供：滋賀県）

【開催期間】令和3年7月17日（土）～令和3年9月20日（月・祝）

【開館時間】午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】8月30日（月）、9月6日（月）・13日（月）

【入館料】大人600(480)円、高大生360(290)円、

小中学生・県内高齢者・障害のある方は無料。

※（ ）は20人以上の団体料金。

※「信長の館」との共通券 大人980円、高大生540円



滋賀県立安土城考古博物館

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678

TEL. 0748-46-2424 FAX. 0748-46-6140

URL: <http://www.azuchi-museum.or.jp/>



博物館 HP

やむをえず、会期を変更する場合がございます。最新情報は当館ホームページでご確認下さい。ご入館の際はマスクを着用し、手指の消毒にご協力ください。

【お知らせ】整理室公開事業・埋蔵文化財整理調査報告会

「あの遺跡は今！ Part28 おいでやす整理室」—滋賀のお宝と考古学のお仕事 大公開!—

滋賀県立安土城考古博物館内の整理室では、滋賀県内の発掘調査で見つかった出土品の整理調査をしています。夏休み2日限定の恒例イベント「あの遺跡は今!」では、現在整理調査をしている蜂屋遺跡（栗東市）や敏満寺遺跡（多賀町）などの出土品を、現地調査の写真パネルと調査員の詳しい解説付きでご覧いただけます。

そのほか、出土品の接合や実測・注記などの調査作業の公開も、あわせて行います。調査スタッフの熟練の技を、ぜひ間近にご覧ください。受付で無料配布する展示解説シートには、自由研究のテーマのヒントがたくさん。楽しく歴史にふれて、夏の自由研究を完成させよう!

【開催日】令和3年7月31日（土）・8月1日（日）

【開館時間】午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【参加費】無料・申込不要

【会場】滋賀県立安土城考古博物館回廊展示（調査課安土分室）

近江八幡市安土町下豊浦 6678

【お問合せ】博物館内 調査課安土分室 0748(46)4861

（詳細は当協会のホームページに掲載予定）

※なお、新型コロナウイルス感染状況により、中止する場合があります。



協会 HP



回廊から作業を見学!

【お知らせ】

紀要34号が刊行されました!

昨年度は当協会が設立50周年を迎えた記念の年で、記念号となっています。内容は、縄文時代から保存処理までと多岐にわたった力作ぞろいです。ぜひ、ご一読下さい。県内の図書館等で閲覧することができます。また、オンラインショップ「近江文化財本舗」(<https://shiga-bunkazai.com/>)にて購入・決済することもできます。ご利用ください。



協会HP